

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

■ 指数は大台回復！ そろそろ「出遅れ株」の出番！



今月15日、日経平均株価は5年4ヶ月ぶりに大台1万5000円台奪回を果たした。これには外部要因の進展効果が大きいが、ちょうど決算発表が二巡したことで、個別視点で手掛けやすくなった点も影響しているのではないか。

前回コラムでは「決算シーズンを総括して好業績株を選び抜け！」として、14日引け後に「選別物色」をテーマとする「厳選5銘柄付き市況分析レポート」の配信を行ったが、早くも提供銘柄のクルーズ(2138)、日本海洋掘削(1606)が10%上昇率の目標株価を達成するなど、レポート購入者からは市況分析、銘柄アプローチを高く評価していただいた。

さて、株価指数は昨年安値からの倍化も射程圏内となるなど、政権交代劇を切っ掛けとした昨年後半からの活躍には目覚ましいものがある。株価指数の上昇とともに中核銘柄の株価水準も順当に切り上げてきているが、株式相場にはまだまだ評価余地の残る銘柄も多く残されているよう。株価指数の大台突破で達成感も広がるなか、そろそろ出遅れ感のある銘柄にも物色の手が伸びてくるのではないか。

そこで弊社では、上値余地の残る「出遅れ株」をテーマとした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせてください。